

発表から見えてきた視点

各班からの発表（P2,3）で見えてきた視点に対し、検討チームからコメントしました。



駅から海への軸線
と
海の象徴的な景観

様々な回遊のための
整備と仕掛け

- ・歩き、サイクリング、
船、車

時間軸を考える

- ・春夏秋冬
- ・昼と夜
- ・夜間景観の大切さ

場所毎の
使いこなし

- ・海に近い良さを生かす
- ・緑地の良さを生かす
- ・食・音楽などのイベント

できないことは、“できるようにする！”
“私がやる！”というプレイヤーの登場が大事



忽那裕樹

小さな実践から
はじめるプロセスが
大事

見える化する

- ・情報発信
- ・サイン計画など

海の見えるポイントが
あかりでどうなるか、
次の28日によって
みましょう！



長町志穂

進行役



名畑 寛 益尾孝祐

蒲郡で育った私にとって
東港は楽しくてしょうがない場所でした。
海は市民のもの。
皆さんで考えていきましょう。
今日は蒲郡の成熟した市民社会の一步でもありますね！



安井秀夫

アンケートより

1) ワークショップに参加して

- ・地元であるが、気づいていない事があると思った。
- ・まち歩きからのワークショップだったため、
アイデアが沢山浮かびました。
- ・蒲郡を愛する人たちの多くの意見が聞けて良かった。

2) 印象的だったこと。

- ・初めて歩いた所もあり、蒲郡を見直すきっかけとなった。
- ・広い敷地がムダなまま放置されていることに驚いた
- ・良さ場所素晴らしい場所はすぐ記憶から消えます。
でも楽しき場所面白き場所ならば長く記憶に残ります。
これから若い世代がイニシアチブを取ってほしい。

3) その他

- ・内容の濃いワークショップでしたので、時間を短く残念でした。
- ・話足りないのでもう少ししゃべって話し合えたらと思います。

※ 通信では、ワークショップ意見・アンケート共に、一部の紹介になりますが、詳細の記録を分析し今後の検討に生かして行きます。

蒲郡市東港地区まちづくりワークショップふり返り通信 vol.01

発行日：2022年6月5日

発行：蒲郡市東港地区開発推進室（TEL / 0533-66-1281）

編集：「東港地区」検討チーム

協力：愛知工業大学

< [東港地区] 検討チーム >

忽那裕樹 長町志穂 名畑寛 安井秀夫 益尾孝祐

蒲郡 東港地区 ワークショップ

一回の報告です。
ふり返り通信
vol.01

東港地区のまちづくりを推進するため、地域のみなさんとまちづくりの専門家チームが共に考えるためのワークショップと社会実験を実施しています。この通信では、第1回の様子をお届けします。



テーマ

まち歩きによる 東港地区のお宝再発見！

全プログラム

第1回

まち歩きによる東港地区のお宝再発見

日時 | 2022年5月22日(日) 13:30~16:30

場所 | (まち歩き) 東港地区(まち歩き)
(ワークショップ) 蒲郡市勤労福祉会館3階

第1回 あかり ミーティング

夜景観察まちあるきワークショップと
三三照明実験

日時 | 2022年5月28日(土) 19:00~21:00
場所 | 東港地区

第2回

場所毎の魅力と課題を掘り下げる！

日時 | 2022年6月5日(日) 10:00~12:00
場所 | 蒲郡市勤労福祉会館 3階

2022年5月22日(日) 13:30より、第1回蒲郡市東港地区まちづくりワークショップを開催しました。蒲郡市民の皆様、学生、専門家、行政等約40名の方にご参加頂きました。

*

冒頭には市長より、市民意見を踏まえながらつくられた「東港地区まちづくりビジョン」を羅針盤にしつつ、具体的なまちづくりに結ぶために東港地区の魅力や課題を市民の皆さんで共有していくことから始めていきましょう、という呼びかけがありました。

約1時間のまち歩きでは、気づいたことを話し合ったり、地図にメモをしながら歩きました。会場に移動し、グループにわかれてまち歩きで発見した東港地区らしさや魅力・課題を地図に書き込み整理しました。最後には各班より今後に向けたアイデアが発表され、専門家チームからは触発された思いなどをコメントし、大いに盛り上がりました。



鈴木寿明 市長

東港地区まち歩き成果

凡例：(●) 魅力・思い出 (■) 提案 (▲) 課題・不安

竹島ふ頭緑地

- スポーツや野外アクティビティに向く広さがある。
- 海が見えるロケーションが良い。
- 唯一デザインされているボードウォークが魅力的である。
- スケートボードなど、ある程度音がでるスポーツをしても気にならなかった。スケートボードやBMXなどの陸上のスポーツ施設の整備を行えると良い。
- 景観の良さがあるのでフォトスポットの紹介やインスタの活用、ライトアップ等を行い、若者集めたい。
- 日よけベンチの設置や木陰で休める場所も欲しい。
- マリンスポーツや海釣りのできる公園にしたい。
- 家族連れの集客をするためデーキャンプやオートキャンプ場の設置をしたい。
- キッチンカーなど飲食する場が欲しい。
- 港が近いので蒲郡の食を活かした観光イベントを増やしたい。
- 身障者用ポンツーンがある。遊覧船の活用もできると良い。
- ▲ ウッドデッキ沿いにある照明はメンテナンスされておらず、点灯していないものが多い。
- ▲ 草が生えっぱなしで管理されていない。
- ▲ 竹島埠頭緑地はあることすら知られていない。
- ▲ アメリカンズカップのベースキャンプ地があった場所は現在ヨットが展示されているだけとなり説明が小さいためわかりづらい。

竹島埠頭

- 竹島埠頭は360°のビューがある。
- ここにくると海を感じられる。初日の出を見に行った思い出の場所。
- 竹島埠頭のあたりは駅からも近く魚釣りを市民が楽しむ場だった。
- 以前は、花火やお祭り、クラフトフェア等のイベントが行われていた。「うどんサミット」が何回か実施されている。
- かつてはラグーナから西浦、竹島を繋ぐ遊覧船があった。
- ワンコインクルーズ(ぐるり船)のイベントが開催されていた。
- 横浜の赤煉瓦倉庫とイベントパークのような使い方ができると良い。
- 海上交通があったためかつては人が集まる港だった。船着き場を活かせるとうい。
- 竹島ふ頭先に帆船が停泊しているとイメージが良い。
- ヨット等が体験できるような施設が欲しい。
- 海が見えるカフェが欲しい。
- 竹島埠頭先の展望台から新たにいきたい場所を発見する。竹島ふ頭緑地にある鐘を移動するとパワースポットにもなりそう。
- 夜のライトアップを行い夕景クルーズ、夜景クルーズができると良い。
- ▲ 竹島埠頭が駐車場に使われているのはもったいない。
- ▲ 現状は、錆びた鉄柵などにより景観が良くない。夜は暗くて風が強い日は、落ちる危険があるため歩けない。
- ▲ 防潮堤を境に分断されているイメージがある。竹島埠頭に展望台をつくり駅から見える化が重要。

目抜き通り

- 歩道の左右でイベントを開催し中央分離帯部分に動線を設けることも考えられる。
- 電柱は良いが電線が張り巡らされており写真映えが良くない。電線中化も考えられる。
- 堤防が高く海を感じられないため海に導く方法やデザインを考える必要がある。
- 目抜き通りを使って手作り市を2回ほど実施したが、市が主導で行うためうまくいかなかった。民間が実施すればさらに面白く行えると思う。
- 日陰があるとより良い環境となる。パラソルがあると良いのではないかな。
- 通りの木をライトアップしたら雰囲気が良くなると思う。
- 通りをヤシの木にすれば、せせらぎに落ち葉が落ちないので良い。
- 竹島園地でよく行われているイベントを開催するなどイベントを増やしたい。
- ▲ 竹島には人が多いが、駅から竹島への通りは人通りが少ない。
- ▲ カフェなどの食べ物を購入し滞りできる空間が少ない。
- ▲ 目抜き通りの水路は、水が流れていると夏の暑い時にも涼しくて良い。しかし、節水の時は流れていない。夏休みだけでも水路に水が流れ子供が遊ぶことができれば良い。
- ▲ 目抜き通りはイベント開催用に電源が整備されているが、機材の搬入搬入を考慮する必要がある。
- ▲ 目抜き通りは車通りが少ないため、車道を通行禁止としイベントや広場のなどを開催し歩行者天国のような活用が求められる。
- ▲ 生命の海科学館前から水族館への観光案内板がないためどっちに行けばいいかわからない。

竹島園地

- 竹島には島や鳥、松林や橋、岩や魚などたくさんの魅力がある。
- 竹島は夕日がきれい(プロポーズは竹島で)。
- 5~6月と10月あたりに人がよく集まる。
- 手づくり市が開催している。
- インスタグラム等の活用により、縁結びなどのパワースポット化を目指した仕掛けをつくる。
- ▲ 竹島は駅から少し遠いから車が必要。
- ▲ マルシェをやるには風が強い(プロムナードに誘致したほうがいい)。
- ▲ 潮干狩りが行われているが知名度が低い。
- ▲ 竹島周辺に飲食店やお店が少ない。

竹島

- 東港地区の核となるのは竹島と蒲郡クラシックホテルからの見晴らしを活用する必要がある。
- 沖繩のように海を見ながらカフェで楽しむという発想がない。
- 竹島の周りに余っている土地が多すぎる。その余っている土地でライブカフェバーをやりたい。
- 試しに仮設でも良いから竹島を使わせて欲しい。
- 海が近いことを活かし日帰りキャンプ場の整備が求められる。
- スマホで景色を見たと紹介が始まるようなソフトシステムの導入が考えられる。
- 自然も豊かでパワースポットでもあるのでより多くの人に知って欲しい。
- 竹島の干潟は多くの人で賑わっている。海で魚が泳ぎ、はね 気持ちの良い潮風やアサリ採り、魚釣り等、海での遊びが蒲郡の特徴となっている。
- 夜、竹島を見ながらベンチに座ってお酒を飲む人がいる。
- ▲ 御手洗の整備が必要。
- ▲ 竹島に鷹が多く寄り付く問題は解決できないだろうか。
- ▲ 陸から竹島や大島や資料館の前の海側のフェンスには冬になるとゆりかもめや渡鳥がたくさん止まっている。このような風景を撮影ができるスポットが求められる。
- ▲ マリンセンターハウス前に車があり火を使ってキャンプを行っていた。

蒲郡駅周辺

- 駅から海が近く、歩いて海まで行けるほどアクセスが良いことは東港の魅力である。
- うどんサミットなど海沿いのイベント時に、市外の人が駐車場の心配せずに駅からまっすぐ歩いていけることが良いと評判だった。
- 海の近くに高い場所がないので、駅に街が一望できる展望台があると良い。三方の山も綺麗である。
- 駅前広場が広い。ヨットのオブジェも海の蒲郡に相応しい。
- 蒲郡駅前の地下街は日本一短い地下街と呼ばれ、小さいが魅力的。
- バスハウスという知る人ぞ知るライブ会場が駅北の広小路通にあり魅力的。
- 駅前に若者世代等向けのお店の設置やイベントを開催する等、駅前に更なる賑わいが望まれる。
- 駅のホームや駅前通りから海が見え、このような街はなかなかないのでもっとアピールできるといい。駅のホームから降りてくる階段やエレベーターから海が見えるようになると更に良い。
- ▲ 大会で負けたヨットを駅前に飾ってあるのはいかがなものだろうか。
- ▲ 駅前のイルミネーションが寂しい。
- ▲ 駅から竹島、水族館などの案内板がない。また、駅周辺に釣りへ誘導するものが何にもない(魚等を思わせるオブジェの設置)。
- ▲ 駅周辺は、飲食店はあまりないイメージだったが、最近は新しい店(カフェ等)が増えている。しかし、そのアピールが少ない。

竹島水族館

- 深海生物のPOPが魅力的。
- 入館を待っているときも、待ち甲斐があるような仕組みがあると良い。
- 水族館が海と直接繋がっていると弁当を持って過ごせる場所になるのでは。
- せめて水族館の行列が屋内で処理できる程度は施設の規模が欲しい。
- 一日中いられる水族館になると良い。昔鯨がいた。
- 磯遊びと一体で使われるようになると良い。
- ▲ 竹島水族館は魅力的だが、今後どうするかが課題

ベイパーク

- ベイパークの駐車場は平日蒲郡駅を使用する市民が使用している。
- かつてホバークラフトの乗り場があり、その辺りで魚を獲ったことがある。
- 四季に合わせて変化のある自然。潮干狩り、磯遊び、魚釣り、わかめ採り、アサリ採りなど海で楽しむことはたくさんある。遠足でわかめを食べた。
- 現状、グランドゴルフだけの利用となっているが、ベイパークの利用方法を考える必要がある。
- イベントの場所を整備し、使いたい団体、企業に働きかけ、場所を貸出し、市は広告などを行う形にすることでイベントが開催しやすくなると思われる。
- 若い人がイベントを行うことでまちが活性化すると考えられる。
- パルク等の水族館周辺の土地が空いているため有効活用が必要である。
- ▲ オリーブの森(市民農園)を作るという土地利用も考えられる。
- ▲ 造園業者に区画を貸し出し作品の制作、展示なども考えられる。
- ▲ 芝生の管理のため、グランドゴルフ以外の利用に制限されているため使用しにくい。
- ▲ ピーク時の駐車場が不足している。
- ▲ パルクが閉鎖し、土産物、飲食が足りていない。
- ▲ 市民農園として活用している箇所がある。しかし、散策路などはなく、快適ではない。
- ▲ 沿岸部に直ぐ釣具店が見えていれば便利であるが、釣り具などは、アピタの中や市民会館の北まで行かないとない。遊び道具貸し屋があると良い。
- ▲ 外国人は釣りなど金をかけず楽しむ方法を知っている。
- ▲ 子どもにヨットを乗せたいと思いついておられるが、危ないと言われる。
- ▲ 竹島埠頭から竹島へ行く道が不明。特に造船所から竹島ベイパークに行くときの雑草道。車道と歩道もあいまいで危ない。
- ▲ 住民は子供の頃から海との距離が近いので、改めて、海でSUPやヨット、アサリ採りをするのがなくなっている。近年では、貰いものでしか蒲郡の海を感じていない。

